

「自殺」をなくすために できること

～あるべきネットワークを求めて～

2012年

日時

9月1日(土)

午後1時30分～午後5時
(午後1時開場)

場所

ウェルバルくまもと

熊本市中央区大江5丁目1-1



ココ
熊本市電
「交通局前」
下車
徒歩1分

日本では毎年3万人を超える人が自殺により命を落としています。これほど多数の人が自殺を選ぶ背景には、経済的困窮や精神疾患、職場や家庭内の人間関係など、様々な問題が潜んでいます。

本シンポジウムでは、自殺が「選んだ死」ではなく、「選ばされた死」であることを学び、これを防ぐための取り組みとそのためのネットワークのあり方を考えます。

本シンポジウムを通じて、それぞれの立場でどのような役割を果たすことができるのかを考え、議論し、より有効な自殺対策が実施できることを目指します。

主催

熊本県弁護士会

〒860-0078 熊本市中央区京町1丁目13-11

TEL096-325-0913 URL: <http://www.kumaben.or.jp/>

共催

日本弁護士連合会

入場
無料

基調報告

「熊本県における
高齢者うつの
実態調査より」

熊本大学医学部附属病院 神経精神科講師

藤瀬 昇 氏

パネルディスカッション

パネリスト

- 藤瀬 昇 氏 (精神科医師・熊本大学病院)
- 植村 照子 氏 (臨床心理士・熊本県臨床心理士会)
- 栗原 麻美 氏 (長洲町総務課総務係参事)
- 阿部 広美 氏 (弁護士・熊本県弁護士会)

コーディネーター

- 松村 尚美 氏 (弁護士・熊本県弁護士会)